



◆頑張っている人物やグループを  
広報編集委員が紹介します。…担当/島崎 則彦

香我美町の山南公民館。ここでは年に3、4回、いいにおいが漂ってくる男たちだけの「お楽しみ会があるという。「山南男の料理クラブ」。さあ、今日はどんなごちそうができるだろう。春の例会におじゃました。

メニュー  
いっぱい



15年前から活動しているクラブのメンバーは、地域の62歳から85歳までの20人。頭巾に腕抜き、エプロンをビシッと決めて17人が集まった。

まず、市健康対策課の村山さん、出羽さんから献立の説明、そして講習もある。テーマは「お酒と上手につきあうには」。やっぱり男の料理には酒が付き物ですからねえ。プムプム。

今日のメニューは、ひじきごはん、豚肉の甘酢胡麻ソース、大根のみかんドレッシングサラダ、セロリとトマトの卵炒め。おいしそう。でも結構手が込んでるなあ。

調理台もすつきり

4班に分かれて早速調理室へ。あちから米をとぐ間にこちらで

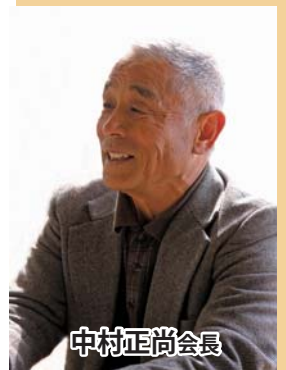


はひじきを水で戻す、あざやかな手つきでトマトを湯むきする、ドレッシングを合わせる。トントントンとニンジン、大根を千切りする小気味よい音が聞こえる。塩コショウとトマト、溶き卵、セロリを炒める。うーん、いいにおい。

1時間足らずで4品が完成した。手際よさに感心しながら流しや調理台を見て二度びっくり。料理が終わると同時にすつきり整頓されている。男の料理といえば「作りっぱなし」とよく言われるが、ここでは違う。段取りのよさと見事なチームワークに15年の伝統を感じる。

困らない男になる

お待ちかねの試食会が始まる。「あさりしたええ味」「歯ざわりもええあんばいじゃ」「酒のあてにちよっと」。それぞれの料理



中村正尚会長

を品評しながら杯が進む。無論酒は飲む。それが「男の料理」の醍醐味。隣近所が杯を傾けながらわいわいがやがや…これが地域の絆を強める。

市の栄養士さんが毎回作ってくるレシピは、大切に保管しているという。さぞ家でも腕をふるっている。だろつと聞いてみると「いやあなかなかねえ」。でも中村正尚会長は、クラブのねらいをこう説明する。「やっぱり、毎日料理を作ってくれる女性の苦勞を少しでも理解するきっかけにしたい。それにはまず、一人でも困らない男になること」

「次は地元旬の食材を使って、自分たちで献立も考えてみたいねえ。衰えないメンバーの熱い思いが、クラブの息の長い活動を支えている。次回が楽しみだ。」



3.13 8:00~15:00 (日) 高知駐屯地



記念イベント

陸上自衛隊高知駐屯地創立45周年  
第50普通科連隊創隊5周年

内容  
駐車場  
シャトルバス  
問い合わせ

- 音楽演奏や装備品展示、レンジャーロープ訓練公開、模擬売店など
- 香我美支所・香我美小学校など(駐車場からは送迎バスあり)
- のいち駅よりシャトルバスを運行します
- 高知駐屯地広報 ☎55-3171(内線350)

※駐屯地への車両乗り入れは制限させていただきます

